

最初的一步。ダンゴムシからはじまる、虫たちとの出会い

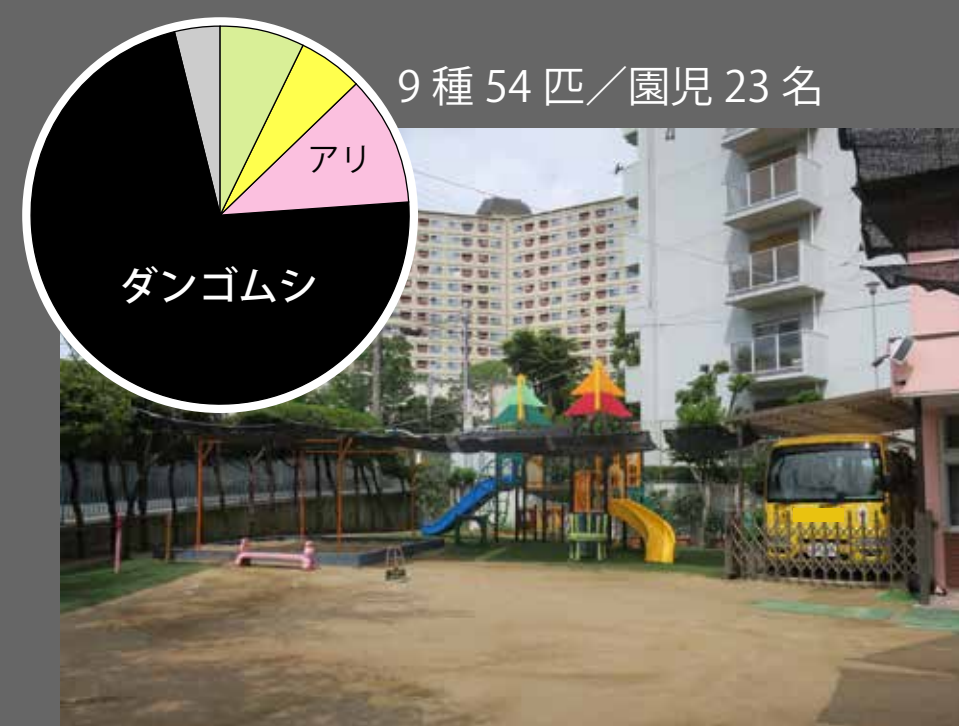
自然・環境再生研究部 コミュニケーションデザイン研究グループ

八木 剛

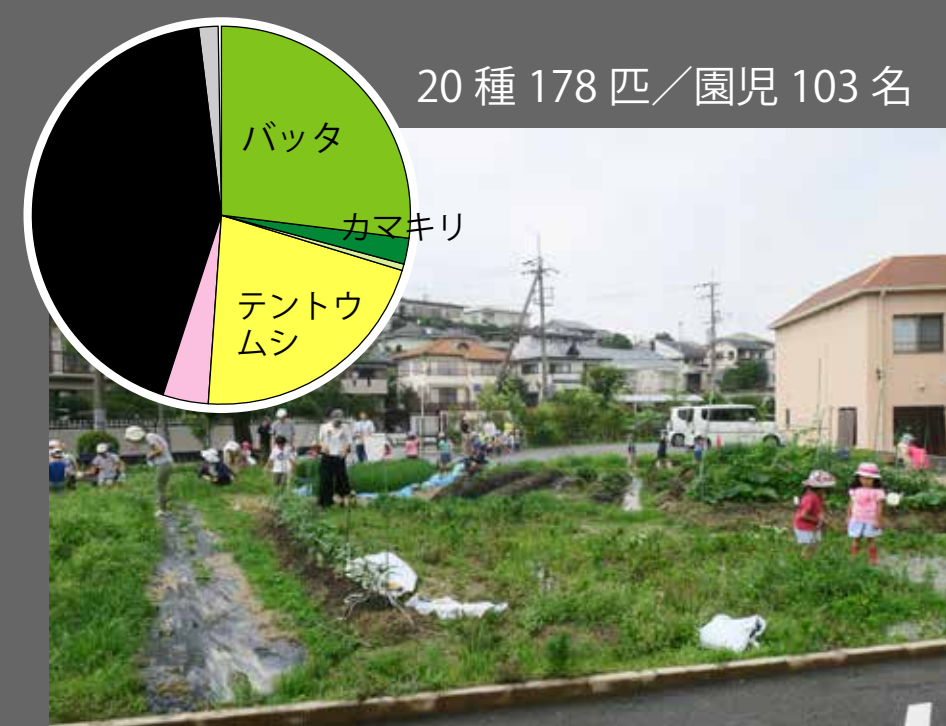


2017年10月から2021年1月にかけて、兵庫県内各地の幼稚園・保育所など、述べ59園、2,647人の子どもたちといっしょに、園庭や公園で、虫とりをしました。園児たちは、347種類、3,926匹の虫をつかまえました。多くは、地表か地表近くにいて、動きの緩慢な虫たちでした。いちばん多くつかまえたのはダンゴムシ。つかまえた虫の数は園児数に比例しますが、虫の種構成は、場所によって変化がありました。いろんなところで虫とりをすると、いろんな虫に出会えますね。幼児期にこそ、自然の中で遊び、いろんな生き物に触れてほしい。そう願って、子どもたちの現況を把握し、プログラムと教材の開発を進めています。

くわしくは、「エコロコプロジェクト」(ふるさと兵庫子ども環境体験推進事業)のサイトをどうぞ。→



T 幼稚園 (神戸市・2019年7月)
完璧なお掃除。地表の緑は人工芝です。



N 保育園 (西宮市・2019年7月)
住宅地内の園ですが、広い畑があります。



K 幼稚園 (たつの市・2019年9月)
周囲は水田。園庭にも緑がいっぱいです。



園児がつかまえた虫、ベスト10

数字は個体数。5-7月、9,10月の実施が多く、2~4月、8月はありません。但馬地域では実施していません。